

熱中症予防のために

～重篤化させないための、適切な対策をお願いします～

渴く前に飲む！

労働災害防止キャラクター
チュウイ カン吉

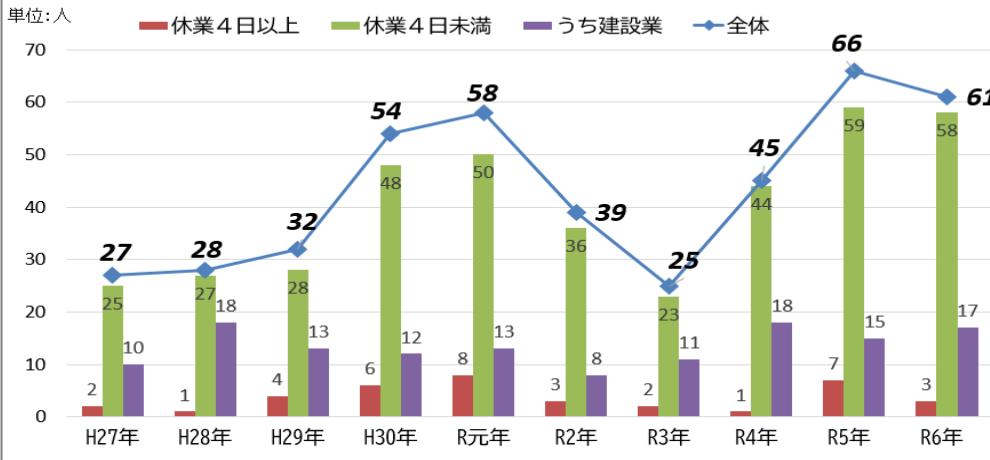


令和6年、山梨県内で熱中症を発症し、休業した労働者は61人(うち休業4日以上の特重労働者は3人)で、前年の66人(うち休業4日以上の特重労働者は7人)より減少したものの、**依然として高止まりの傾向**にあります。

発症件数の内訳を業種別にみると、建設業が17人と最も多く、続いて警備業が10人、製造業が7人、商業が5人の順となっています。

熱中症は、屋外作業場のみならず、屋内作業場でも発生しています。暑さ指数(WBGT)を活用して、職場における熱中症を防ぎましょう！

熱中症による死傷者数の推移



山梨労働局
熱中症特設ページ



厚生労働省
職場における
熱中症予防情報サイト



環境省
熱中症予防
情報サイト



★労働安全衛生規則 改正のポイント (令和7年4月15日改正 同年6月1日から施行)

対象となるのは

**「WBGT28度以上又は気温31度以上の環境下で
連続1時間以上又は1日4時間を超えて実施」が見込まれる作業**

☞ 臨時・非定常作業
も含まれます

基本的な考え方

見つける

判断する

対処する

現場における対応

熱中症のおそれがある労働者を早期に見つけ、その状況に応じ、迅速かつ適切に対処することにより、熱中症の重篤化を防止するため、**「体制整備」、「手順作成」、「関係者への周知」**が事業者に義務付けられます。

周知の例…朝礼やミーティングでの周知、事務所や休憩所等わかりやすい場所への掲示・メールやイントラネットでの周知



(掲示例)

責任者〇〇〇〇

(電話〇〇-〇〇〇〇)

医療機関

〇〇病院

住所: 〇〇市〇〇町〇-〇

電話: 〇〇-〇〇〇〇

件名: 本日はWBGT値が28℃を
超える見込みです

皆様お疲れ様です。
本日のWBGT基準値は〇℃です。
作業時には充分に気をつけて、
水分補給及び休憩をしっかりと
お願いします。
体調不良者が発生した場合は、
フロー図に基づき対応いただき、
〇〇さん(000-0000-0000)へ
連絡するようにお願いします。
それでは本日もよろしくお願いいたします。



- 定期的に熱中症の教育を行いましょう。作業中は巡視を頻繁に行い、声をかけるなどして労働者の健康状態を確認してください。単独作業を避けられない場合は、ウェアラブルデバイス等の導入や体調の定期連絡など、常に状況を確認できる態勢の確保を。
- 本人や周りが少しでも異常を感じたら、必ず、一旦、作業を離れ、身体冷却を行うとともに、ためらうことなく病院に搬送しましょう。**判断に迷う場合は、#7119の活用を！